

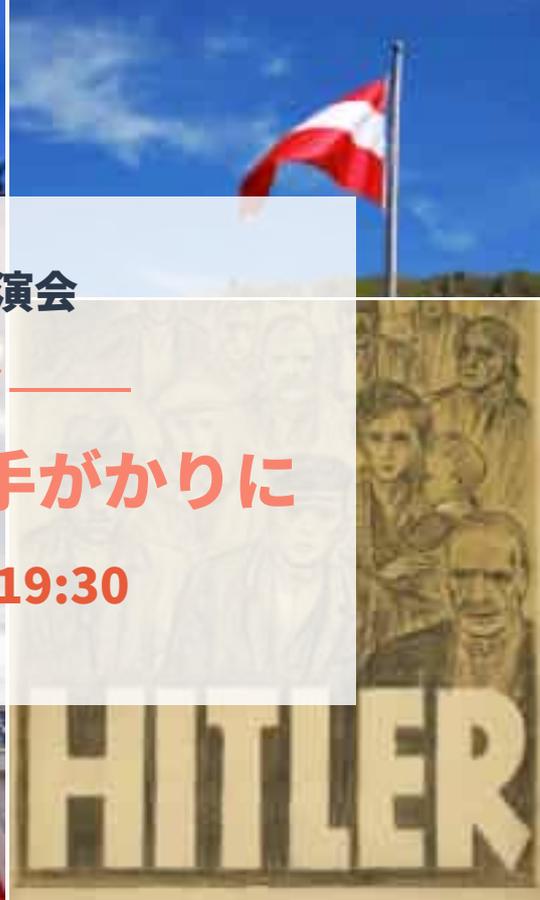


千葉県日独協会 オンライン講演会

光と影のオーストリア—— モーツァルトとヒトラーを手がかりに

2024年7月28日（日）18:00～19:30

（講演 60分、質疑応答 30分）



これまでオーストリアと聞くと、音楽、文化の華やかな国という印象が浮かびます。一方、歴史的な見方をすると、もう少し別の観点からのオーストリアを発見できるかと思います。今回、明治大学の水野博子先生をお招きしてオーストリア現代史のエッセンスをお話しいたします。

主催

千葉県日独協会 青壮年部ドイツ歴史研究会

場所

オンライン（Zoom）

参加費

無料

参加登録

必須（[こちらのリンク](#)または右のQRコードから）

問い合わせ先

veranstaltung.jdgc@gmail.com（千葉県日独協会）



講演者紹介：水野 博子（みずの ひろこ）

1970年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程中途退学、オーストリア グラーツ大学精神科学部博士課程修了、Dr.phil. (歴史学)現在、明治大学文学部教授（[明治大学プロフィール](#) / [researchmap](#)）

主要著作：『ドイツ国民の境界——近現代史の時空から』（水野博子・川喜田 敦子編著、山川出版社、2023）、『戦後オーストリアにおける犠牲者ナショナリズム——戦争とナチズムの記憶をめぐって』（ミネルヴァ書房、2020）、『教養のための現代史入門』（小澤卓也・田中聡・水野博子編著、ミネルヴァ書房、2015）、『ハプスブルク史研究入門——歴史のラビリンスへの招待』（大津留厚・水野博子・河野淳・岩崎周一編著、昭和堂、2013）